

件 名	「堺エコロジー大学」の開校について
経過・現状 政策課題	【経過】 ○平成21年4月：堺市環境モデル都市行動計画 <u>ライフスタイルイノベーションによる環境文化の創造</u> <u>低炭素社会づくりに取り組む人材の育成</u> <u>(仮称) さかいエコ大学の設立</u> (5年以内に具体化する取組み) ○平成21年5月：第2次堺市環境基本計画、堺市環境教育基本方針においても、 (仮称) さかいエコ大学の設立を位置づける。 ○平成21年7月：(仮称) さかいエコ大学検討会議設置 ○平成22年3月：堺エコロジー大学基本構想策定 ○平成22年7月：「堺エコロジー大学運営会議」設置 (構成メンバー：学識経験者、市民、NPO、企業(計15名)) 【環境教育にかかる現状】 ○出前講座、イベントをはじめ、印刷物やインターネット等を通じた啓発を実施 ○大気・水・ごみ・自然といった様々な環境要素で事業を実施 ○企業、大学、NPO、行政ごとで、各主体が教育活動を展開 【課題】 ○環境教育のカリキュラムの充実と受講しやすいシステムの構築 ○各主体の環境教育・啓発の十分な連携 ○体系的な環境教育の展開
対応方針 今後の取組 (案)	【堺エコロジー大学の目的】 堺エコロジー大学とは、大学と称した仕組みの中で次のことを行う場 ・市民、NPO、学校、企業、行政など、堺のまちを構成している様々な人々、団体が、講師などとして、自分たちが持っている知識、経験を提供する場 ・様々な場所をキャンパスとして、幅広い層の市民が学習する場 ・地域において、環境活動に率先して取り組むリーダーを育成し、活動機会を提供する場 【事業概要】 ○講座の種類：一般講座、専門コースの2種類 ・一般講座：平成22年10月開講 ・専門コース：平成23年度から実施 ○一般講座の概要 ・対象者：子どもから大人まで幅広い層の市民など。

	・講座の種類：自然、エネルギー、リサイクル等のテーマごとに分類。 ・実施場所：定まった実施場所はなし。講座ごとに設定。 ・連携講座：企業、NPO、大学等が実施する講座を連携講座として位置づけ、情報の一元化を図る。 (現在予定されている主な講座) <table border="1"> <tr> <th>テーマ</th><th>内容</th></tr> <tr> <td>リサイクル他</td><td>「堺の環境体験」</td></tr> <tr> <td>エネルギー</td><td>「エコクッキング」</td></tr> <tr> <td>海</td><td>自然体験学習「堺の海・再発見」</td></tr> <tr> <td>緑</td><td>「共生の森・SAKAI 苗木とのふれあい観察会」</td></tr> <tr> <td>生物</td><td>野鳥観察会「共生の森の野鳥を見よう！」</td></tr> </table> ・受講料：講座テーマ、内容、開催場所などに応じて、有料や無料の講座を設ける。 ○専門コース ・一般講座によって興味を持った人、環境意識が高まった人など、一般講座から更にステップアップしていくコースとして位置付け ・環境リーダーの育成を目的に専門性の高いカリキュラムを構築 ・大阪府立大学の教育プログラムと連携 ・修了後に地域、学校、企業等の環境教育・活動のサポートを想定 【大学の運営方法】 ○「堺エコロジー大学運営会議」 ・一般講座に関する実施計画の方針を決定し、それに基づき講座などを開催 ・専門コースのカリキュラムや人材育成の方針を決定 ○「エコ大パートナー制度」の創設 ・本大学の取組みに自ら積極的に参加し、大学運営の支援や協力をしてもらえ る個人や団体、企業などを募る。 【スケジュール】 ○平成 22 年 9 月 広報さかいへの掲載、ホームページの開設 各講座受講生、エコ大パートナー募集開始 ○平成 22 年 9 月 28 日 開校記念シンポジウム開催 ○平成 22 年 10 月 堺エコロジー大学開校（一般講座開講）	テーマ	内容	リサイクル他	「堺の環境体験」	エネルギー	「エコクッキング」	海	自然体験学習「堺の海・再発見」	緑	「共生の森・SAKAI 苗木とのふれあい観察会」	生物	野鳥観察会「共生の森の野鳥を見よう！」
テーマ	内容												
リサイクル他	「堺の環境体験」												
エネルギー	「エコクッキング」												
海	自然体験学習「堺の海・再発見」												
緑	「共生の森・SAKAI 苗木とのふれあい観察会」												
生物	野鳥観察会「共生の森の野鳥を見よう！」												
効果の想定	○市民主導型の環境共生のまちづくりをめざし、産学民官連携による環境教育を展開し、持続可能な環境共生都市を実現する。 ○3 箇年計画目標：講座カリキュラム数、年間 100 講座 (初年度の平成 22 年度は 50 講座) ○3 年後、一般講座年間 5000 人、専門コース年間 100 人												
関係局との 政策連携	全部局												